

米子工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	専攻英語講読
科目基礎情報					
科目番号	0021		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	専攻科 物質工学専攻		対象学年	専1	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材					
担当教員	青木 薫, 藤井 雄三, 田中 晋, 小川 和郎, 谷藤 尚貴, 櫻間 由幸, 伊達 勇介, 村田 和加恵, 藤井 貴敏, 磯山 美華, 土田 裕介				
到達目標					
(1) 英語の専門書や雑誌の内容を読解するために、必要な文献を収集できる。 (2) 英語で書かれた科学技術論文の表現形式および専門用語を理解し、その内容を日本語で表現できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
資料収集	必要な資料を十分に収集できる。	必要な資料を収集できる。	必要な資料を収集できない。		
英文読解	英語の資料を日本語でわかりやすく表現できる。	英語の資料を日本語で表現できる。	英語の資料を日本語で表現できない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 E-1					
教育方法等					
概要	各専門分野に関する外国語文献および著書の講読を通じて専門分野の理解を深めると共に工学に関する英文の表現力、記述力、語学力などを向上させるためには、各専門分野の文献を講読することが必要である。また、国際化の激しい科学技術の分野において外国語、特に英語を理解し、自ら表現できることはもはや技術者にとっての素養の一つになっている。本講義では、専門書・雑誌を読んで内容を理解し、必要な専門知識を得ること、科学技術論文の表現形式に慣れること、科学技術の専門用語に慣れることに目標をおいて指導する。				
授業の進め方・方法	原則として、特別研究の担当教員のセミナー形式で行う。 質問は、各担当教員が随時受け付ける。 本科目は学修単位であるので、次のような自学自習を60時間以上行うこと。 ・ 授業内容を理解するため、収集した資料の予習をする。 ・ 授業内容の理解を深めるため、復習を行う。 ・ 課題を与えるので、レポートに取り組む。				
注意点					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。 英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。	
		2週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。 英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。	
		3週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。 英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。	
		4週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。 英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。	
		5週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。 英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。	
		6週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。 英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。	
		7週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。 英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。	
		8週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。 英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。	
	2ndQ	9週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。 英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。	
		10週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。 英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。	
		11週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。 英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。	
		12週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。 英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。	
		13週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。 英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。	

後期	3rdQ	14週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		15週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		16週	レポート提出	
	4thQ	1週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		2週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		3週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		4週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		5週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		6週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		7週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		8週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		9週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		10週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		11週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		12週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
		13週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。
14週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。		
15週	英語の専門書または技術論文の資料収集と読解	必要な資料を収集できる。英語で書かれた資料を読解し、その内容を日本語で表現できる。		
16週	レポート提出			

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	4	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	4	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
		日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。		3		
		母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。		3		
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3		

			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3		
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3		
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3		
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	4		
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	4		
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	4		
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	4		
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3		
工学基礎	グローバル化・異文化多文化理解	グローバル化・異文化多文化理解		それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3		
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3		
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3		
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0